

平成23年度 市政懇談会(深江地区)会議録

- 期 日 : 平成23年8月8日(月)19時40分～21時10分
 □ 場 所 : 深江公民館
 □ 出席者数 : 20人

質疑内容	回答	回答者
<p>基幹産業は農業、漁業です。働く場所がないので、県外に流出し、人口が減少しています。地域の発展のためには、過疎化を防ぐ必要があります。後継者は自分の家に残って生活できるよう、就業場所の確保が大切になります。企業誘致が重要になり、企業誘致について市の考えを教えてください。</p>	<p>①若い方の働き口が少なくなってきました。南島原市にとっても心配される面です。経済基盤がしっかりしていなければ、教育、環境、福祉の行政もやっていけません。まずは、地場産業の振興育成を図らなければいけません。農業、漁業をはじめ、製造業の産業の振興を図る取り組みをしています。企業誘致は、なかなか立地条件等が整わないといけません。南島原市は地の利の便が悪いところですが、中央から比べれば賃金が安い、資材が安い、意欲を持って来てもらえる企業もあると聞いています。企業誘致については、いろいろな企業の紹介、斡旋をお願いしている状況です。交通のアクセスは高速や空港からの時間が掛かります。8月5日に国に道路の陳情要請をお願いしてきました。</p> <p>②企業誘致については、深江庁舎の2階に日本トータルテレマーケティングがコールセンターを開所し、7月1日現在、109人(正社員、契約社員等含む)が働いています。その中の74人(68歳)が南島原市民です。企業誘致、企業立地については、東京に駐在員を配置し情報を収集し、その情報を提供してもらっています。情報をもとに会社訪問したり、現地を書類写真等で紹介したりしています。企業誘致については、相手の会社を選択するのが第1条件です。市内の企業については、それぞれ投資をされ、支援するということで平成22年度はサンエスファーム(北有馬)で、菌床しいたけの栽培が行われており、45人が働いています。ほとんどが男性です。水の問題、排水の問題、環境問題があり、用地の広さの問題等々があり、努力をしていますがそういう状況です。</p>	<p>①市長 ②企画振興部長</p>
<p>島鉄跡地の用地の活用法をご教示ください。</p>	<p>①島鉄跡地の用地は、廃線になってどう活用するかが問題です。島鉄の所有ですので、島鉄と話を進めていかなければいけません。島鉄からは市の方で全体を一体とした利用の仕方を市で考えてくれと要望があります。現在、草が生い茂り、環境問題が叫ばれている状況です。若干、具体的な話になっていますが、何とかしなければいけないと検討している状況です。</p> <p>②島鉄跡地については島鉄の方でも、現在動き掛けています。8月3日長崎新聞に掲載された島鉄社長の言葉の中に、「できるだけ早く方針を決定し、対応が必要だと考えている。跡地は細長い形状なので一括活用が望ましい」と一括活用が基本で、部分活用だといろいろ意見がありますが、一括活用だとハードルが高い状況です。</p>	<p>①市長 ②企画振興部長</p>
<p>学校給食の食材の調達について、地産地消をできるだけ進めるように地元から調達するようにできないのかと話をしました。特に地元の農産物、海産物を取り入れることが一番安全、安心だと思います。</p>	<p>①学校給食については、地産地消の考え方で取り組んでいます。</p> <p>②学校給食の食材の調達については、学校給食センター方式は6つの町、自校方式が南有馬と加津佐にあります。6つの給食会が運営しており、給食会に地元の米、食材を利用してもらうようお願いをしています。量的な問題があり、安定的に供給するため、県の学校給食会から購入しています。地元産を利用している数字は把握しておりませんが、地元商店から購入しても、地元か地元ではないかはわかりません。地産地消の推進を給食会にお願いしていきます。</p>	<p>①市長 ②教育長</p>
<p>企業誘致については、条件整備があり、高規格道路ができるかと諫早まで30分くらいで行けるようになります。南島原市、島原市、雲仙市、諫早市の広域的な自治体で企業誘致協議会を立ち上げる必要があるのではないのでしょうか。市独自で個々に取り組むのは厳しいと思います。</p>	<p>島原半島は一つという思いでしていかなければいけないと、事あるごとに3市の共通課題としています。特に農業形態は雲仙普賢岳を中心とした島原半島です。今、南島原市の歴史文化を生かした、美しい自然があり、南目は海水浴場でにぎわっていますが、観光は半島一つという思いでしないと、長崎県を出れば、県外の人は特にどこが南島原市か認知度が低い状況です。ネットと光ファイバーの整備も検討に入っているところです。</p>	<p>市長</p>
<p>島鉄跡地の利用については、周辺に農地を持っている方は、迷惑しています。迷惑が掛からないように定期的に草刈りをしてもらうようお願いしてください。</p>	<p>島鉄跡地については、荒地地の苦情が結構あります。要望があったときには、市から要望を言っています。島鉄と十分話をしながら、早急に利活用ができるように検討していきます。</p>	<p>市長</p>

質疑内容	回答	回答者
給食センターに直接話を聞きに行きました。加津佐は地元農産物を使っていると話を聞きました。深江は県の給食会を通して、米を入れていると聞きました。給食センター個々に購入されているのですか。	当然、自校方式になると規模が少ないので、地元商店から購入するケースがあります。南有馬は地元の生産組合から米を供給しています。給食センターになりますと、深江は規模が大きいので、安定して一定の商品を購入して、提供する必要があります。食材の選定については、給食調達委員会で決定しています。安全な食材を供給するよう選んでいる状況です。教育委員会としては食育の観点から地元産品を利用してもらおうようお願いしています。給食会については今、一つにするように給食会の統合をしていただく話をしている状況です。	教育次長
東日本大震災の支援に対して、深江町の取り組みを評価していただいで喜んでます。南島原市はどのようにしているのかという声も聞こえてきました。南島原市の取り組みはどのような状況だったのですか。	災害支援については、南島原市は雲仙普賢岳噴火で被災をした深江町の皆さんの思いを、市全体でとらえる必要がありました。今年で20年です。今回の東日本大震災はあまりにも、前例がない未曾有の大災害でした。私たちができる応援をしなければいけないと思い、3月14日に市対策本部を設置しました。どうい支援があるか、専門家を呼び、支援策の勉強をしました。まずは、義援金募集でした。市が応援するとすれば、議会に相談する必要があります。義援金の予算と支援の予算1億5千万の予算を組みました。お見舞い上がりしました。現在、太鼓、そうめん流しに上っています。職員も一人長期派遣しています。学校の先生や保健師も上ります。県の支援策と、市の独自の支援策を実施しています。南島原市は、どこにも引けをとらない取り組みをしていると思います。	市長
私は障害者福祉施設に勤め、昨年の懇談会時に盲聾者について質問しました。南島原市は県下で他の市町に負けないくらい手話通訳、要約筆記も配置してもらい大変喜んでます。市は日本でも珍しいというくらい、自立支援法の中で支援しています。支援要請をしたら、行事等の参加に関しても十分にコミュニケーションができません。それに対し、市から配慮してもらい、利用者が大変喜ばれています。他市の状況は厳しい現状があります。私は南島原市の充実を胸を張り伝え、県の盲聾者友の会も驚かされていました。8月19日～21日、視覚障害リハビリテーション研究大会(島原復興アリーナ)が開催され、関係機関に大きな声で話していきます。ありがとうございました。今後よろしくお願ひします。	まだまだ、不十分な面もあります。これからも皆さんと一緒に障害者の支援をしていかなければいけないと思っています。	市長
島鉄からの依頼は、具体的にどのようなかたちの依頼ですか。土地の使用について賃貸借なのか、無償ですか。上町は島鉄跡地に面している自治会で、自前で除草している状況です。環境問題として取り上げるべきです。諮問委員会では高架道路が答えでした。跡地の幅員では高架道路は無理だと思います。	島鉄からの申し入れは全線の一括活用が第1です。用地については、一括して借り上げるか、購入するかです。活用については、島鉄独自の考えを待って検討しているところです。	企画振興部長
合併以降、機構改革で職員の定数についてどのような考えですか。数字が出せるようであれば、算出根拠をご教示願ひします。466人の算出根拠をご教示願ひします。定数については、各課で人数を事務量で出し、くみ上げ、各支所ごとに出します。その算出根拠がないと、数字を出すことはできないと思います。例えば、係ごとに正職員を一人減らし、パートで補う。時間外で補う等、積み上げすべきだと思います。	職員の定数については、626人(H18.3.31)でした。H23.4.1現在、532人(94人減)です。合併当初、定員適正化計画を作成しました。10年後の最終目標が466人です。達成するためには、退職者の1/4補充をしています。5万2千の類似団体を参考に、466人でした。行革推進室がありますが、組織改編や定数削減などの行政改革に取り組んでいます。組織改編の場合はそれぞれの部署から、意見を聞いています。積み上げ方式も大変大事な事だと思ひますが、それぞれの部署から減らしていという意見は出てきません。行革推進室で各部署の意見を聞き、数を割り振っている状況です。	総務部長
昨年の職員採用については、行政職3人、事務職1人採用されていますが、行政職と事務職の違いをご教示願ひします。危惧していることは、20代、30代、40代で平均になつた方が望ましいと思ひます。30年後には50代が30人しかいません。病気が家庭の都合で退職、入れた職員も育たないこともあります。市の幹部、支所、役職を賄えるか心配しています。目の前の財政を立て直すことも大切です。本当に優秀な人材が揃うか、住民サービスの低下にもなると思ひます。30年後を見据えて対応していただきたいと思ひます。財政の問題がありますが、毎年10人採用できないでしょうか。	行政職は大卒程度の学力を有する者、一般職については高卒程度の学力を有する者です。給与、試験内容が違います。532人の内訳は、50代178人、40代156人、30代167人、20代30人、10代1人です。できる限り年代に、ばらつきがでないようにやっという考えを持っています。	総務部長

質疑内容	回答	回答者
<p>学校統廃合について、来年、諏訪分校が100周年を迎えます。どうせ、廃校になるだろうという人と、卒業した学校なので廃校されたら困るという意見があります。統廃合について話を伺います。</p>	<p>現在、各学校ごとに説明会を繰り返し行い、夏休み前に保護者のアンケートを実施しています。集計をし、分析をしているところです。秋に地域で説明会を実施するようにしています。昨年度、検討委員会からの答申を頂き、地域、保護者の方々の納得いくところから統廃合を進めていきます。学校は子供たちのためにあります。子供たちの幸せのためにやっています。昔からの思いも大切に、検討していきます。</p>	<p>教育長</p>
<p>鳥鉄跡について、市民全員へのアンケートをしたらどうですか。踏切は舗装になっています。行けないようにしてあるところと行けるようにしてあるところがあります。事故があったら問題があります。</p>	<p>①鳥鉄の問題は、検討委員会を設け、高規格道路という答申がされましたが、幅員やいろいろな面から実現は難しい状況です。アンケートについては、一人でも多くの皆さんの声を出していただく方法ですので、検討させていただきます。砕石がそのまま残り、2億円掛かります。</p> <p>②検討委員会においては、サイクリングロード、桜並木道路や様々な意見が出ました。下地をするだけでどれだけ掛かるかといえば、砕石がそのまま残っており、除去だけで2億円掛かります。アンケートをとり、皆さんからご意見を頂いた後、どういうふうに使ったの、答えを出せるのですかとなった場合、非常に難しい部分があると回答します。</p>	<p>①市長 ②企画振興部長</p>
<p>ホテルから川に温泉の水やいろいろな排水が流れています。市で調査をお願いします。流れないようにせろと言ってください。</p>	<p>①地元の方から指摘を受けました。梅雨の最後に、排水の問題があると連絡があり、現場を見に行きました。山を下り、排水路をとおり流れています。ホテル自身の問題です。地元の皆さんと実態を検討し、対応していかなければならないと考えています。民間の施設なので、どれだけの対応をしているのか、事業主が責任を持つなければなりません。国道に排水路が設けられています。国との話が、どこまでできているのか。その水が民間の山林、畑、川に流れています。市がやるべき部分、ホテルがしなければいけない部分を検討させてください。担当部署と一緒に現場を見て対応します。</p> <p>②ホテルの排水については、再度調査し、よく聞き取りをし、調べます。結果は報告します。</p>	<p>①市長 ②市民生活部長</p>
<p>踏切りが舗装されていますが、行けるようにしてあるところと行けないようにしてあるところがあります。事故があったら問題になります。</p>	<p>基本的には鳥鉄跡地に入ってはいけないようになっています。</p>	<p>建設部長</p>